

ERE information

Vol.32 2017年9月19日発行

発行/特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者/勅使河原 豊
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号/電話(03)3267-4819/http://www.ere.or.jp/

Contents

- ▶第32回経済学検定試験：マイクロ・マクロ試験の平均点 前回は大幅に上回る！
——『ERE』は前回と同得点、『EREマイクロ・マクロ』は25点上昇——
- ▶第27回EREマイクロ・マクロ「大学対抗戦」：東京大学大学院チームが連覇！
- ▶「大学対抗戦」優勝チームを表彰
 - ・横断的な理論や知識の定着に「EREマイクロ・マクロ」試験を利用！（優勝チーム 井田憲宏さん）
 - ・仲間と共に、目標に挑む！（準優勝チーム 河崎太樹さん）
 - ・マイクロ・マクロ試験で、経済学分野での自分の立ち位置を知る！（個人賞トップ 畑中宏仁さん）
- ▶委託会場制度の利用のご案内
- ▶就活のエントリーシートにEREの成績を明示
- ▶第33回ERE実施要領
- ▶第28回EREマイクロ・マクロ「大学対抗戦」参加チーム募集！

《第32回経済学検定試験》

マイクロ・マクロ試験の平均点 前回は大幅に上回る！

『ERE』は前回と同得点、『EREマイクロ・マクロ』は25点上昇

2017年7月2日(日)に実施いたしました第32回ERE、EREマイクロ・マクロの成績結果がまとまりました。受験者およびおとりまとめご担当者の皆さまへの試験に関するご通知とご報告は、すべての手続等を完了しております。

今回は、EREとEREマイクロ・マクロの合計応募者数が1,174名で、昨年7月実施の第30回の応募者数(1,188名)並みとなりました。その中で、特に応募者が多かったのが明海大学で、147名となっています。次に、日本大学の51名、龍谷大学の50名となっています。

成績概要は〈資料1・2〉のとおりです。

EREの平均点は、前回と同得点の443.4点となりました。マクロ経済学が前回の平均点を若干下回りましたが、マイクロ経済学、財政学、金融論、国際経済、統計学の平均点が前回の平均点を上回り、前回と同得点となりました。EREマイクロ・マクロの平均点は、前回の平均点を25.2点上回る242.7点の好得点となっています。

《資料1-1》科目別成績『ERE』

科目	マイクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平均点	130.5点	125.2点	54.1点	50.0点	48.1点	35.5点
(前回)	129.7点	133.1点	51.6点	48.1点	45.7点	34.9点
標準偏差	52.86点	39.53点	22.36点	21.17点	21.77点	15.44点
(前回)	50.79点	36.99点	21.73点	16.02点	17.43点	15.39点

《資料1-2》

『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	125.0点	117.7点
(前回)	111.5点	106.0点
標準偏差	60.02点	47.04点
(前回)	50.52点	41.18点

《資料2》

成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	82名	1,092名
受験者数	58名	911名
平均点	443.4点	242.7点
標準偏差	131.29点	100.41点
最高得点	760点	490点
最低得点	220点	40点

《資料3》団体応募状況

□ ERE/EREミクロ・マクロ					
1	明海大学	147	16	高崎経済大学	12
2	日本大学	51	17	広島修道大学	10
3	龍谷大学	50	18	名古屋学院大学	8
4	麗澤大学	39	18	岡山商科大学	8
5	大阪産業大学	31	20	東京大学大学院	7
6	札幌大学	25	20	武蔵野大学	7
7	専修大学	24	20	明治大学	7
8	創価大学	20	23	福島大学	6
9	弘前大学	16	23	立命館大学	6
10	長崎大学	14	25	新潟産業大学	2
10	青山学院大学	14	25	長岡大学	2
10	立正大学	14	27	関東学院大学	1
10	九州産業大学	14	27	熊本学園大学	1
14	宇都宮大学	13			
14	旭川大学	13		個人	612

*団体別応募者の人数は、「団体受験申込者数」+「大学対抗戦受験申込者数」です。

《資料4》『ERE』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1			久米 祐也	S
2			清水 邦敏	A+
3			雷 諸	A+
4			清水 皓裕	A+
4			坂倉 伊織	A+
6	多摩川精機(株)		坂巻 貴紀	A+
7			棚瀬 勇介	A
8	立命館大学	経済学部経済学科	大坪 祝音	A
9	法政大学	経済学部	—	A
10	立正大学	経済学部	北川 由人	B+
11	上智大学	外国語学部	勝田 将平	B+
12	東北大学	経済学部経済学科	三木 拓弥	B+
12			大島 裕貴	B+
12	前川公認会計士事務所	所長	前川 克博	B+
15	一橋大学	経済学部	—	B+
16	明治大学	政治経済学部	韓 キョン潤	B+
16			北川 義雄	B+

《資料5》『EREミクロ・マクロ』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
1			陳 治 位	S
1			L i Q i a n	S
1			袁 碩	S
1			李 欣 桐	S
5			唐 雨 桐	S
5			H U Q I Y A N	S
5			C H E N H A N	S
5	日本大学	経済学部経済学科	達 晶	S
9			Z H A N G J I N G S H U	S
9			H u a n g Y i m e i	S
9			何 云 琦	S
9	東京大学大学院	公共政策学教育部	畑 中 宏 仁	S
13			王 冠	S
13			H U A N G J I N G N I	S
13			高 慶 春	S
13			蔣 偉 志	S
13			Z H A O M E N G H A N	S
13			L Y U R U N Z H I	S
13			H E F A N G	S
13			孔 慶 紫	S
13			W A N G Y U	S
13			鞠 ブ ン 亦	S
13			張 杰	S
13	東京大学大学院	公共政策学教育部	金 重 洸 紀	S
13			T A I T S E N Y U	S

2017年12月受験用 ERE経済学検定試験 問題集

- 第29回～第32回の試験問題360問と解答・ポイント解説を掲載
- 出題傾向の把握が可能

日本経済学教育協会 認定 経済法令研究会 編
A5判 304頁 予価1,900円+税

《第27回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」》

東京大学大学院チームが連覇！

準優勝は専修大学「経済学検定演習講座A」チーム／個人賞トップは畑中宏仁さん

第27回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」は、5校10チーム、計75名で競われました。

優勝は、東京大学大学院「経済学愛好会」チームでした。1,700点を獲得して、前回に引き続きの優勝となりました。準優勝チームは、1,570点を獲得した専修大学の「経済学検定演習講座A」チームです。第3位には、1,360点を獲得した専修大学の「櫻井・奴田原ゼミナール」チームが入りました。

「大学対抗戦」個人成績のトップは、470点を得点した東京大学大学院「経済学愛好会」チーム畑中宏仁さんです。なお、個人賞は380点以上10名の方が獲得しています。

優勝・準優勝チーム、個人賞受賞者の皆さんには、日本経済学教育協会ならびに協賛団体より副賞が授与されます。

参加チーム上位4名までの平均点は、304.25点で、前回は56.94点上回りました。

順位	チーム名	学校名	総合得点	平均点
優勝	経済学愛好会	東京大学大学院	1,700点	425.0点
準優勝	経済学検定演習講座A	専修大学	1,570点	392.5点
第3位	櫻井・奴田原ゼミナール	専修大学	1,360点	340.0点

※参加メンバーの上位4名の総合成績です。上位4位までの総合点が同点の場合は、チーム全員の平均点で判定します。

《「大学対抗戦」優勝チームを表彰》

連覇の東京大学大学院「経済学愛好会」チームを事務局長が表彰！



連覇を表彰する勅使河原事務局長（写真上）と「経済学愛好会」チームのメンバー（写真下）

東京大学大学院公共政策学教育部「経済学愛好会」チームは、前回に引き続き大学対抗戦優勝の栄冠を獲得いたしました。

去る8月31日（木）、優勝した東京大学大学院「経済学愛好会」チームを事務局長の勅使河原が表彰いたしました。過去に連続優勝したのは、第8回から第18回まで11連覇した創価大学、第3回から第6回まで4連覇した早稲田大学、第22回から第25回まで4連覇した専修大学のみで、「経済学愛好会」チームの井田憲宏さんは、今後も「大学対抗戦」で優勝を続けたいとチームの抱負を語っていました。

■大学対抗戦 優勝・準優勝チーム、個人賞トップのコメント■

☆優勝 東京大学大学院 「経済学愛好会」

横断的な理論や知識の定着に「EREミクロ・マクロ」試験を利用！

はじめに、第27回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」において、前回に引き続き優勝を勝ち取り2連覇を成し遂げることができたことを、「経済学愛好会」のメンバー一同、心より嬉しく感じております。

我々は大学院にて、大学院レベルのミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学の理論の習得に加え、それらを実社会に活かすための応用分野に重きを置いて取り組んでおります。そのため、そこでは専門分野の垣根を越えて、より幅広い分野の理論や知識が求められます。また、私を含め我々の中には経済学部出身ではない者も多く、より高度な内容を扱う上で基礎となる理論や知識を各々で補う必要があります。そうした横断的な理論や知識の定着に適っているのが「EREミクロ・マクロ」試験であり、中でも「大学対抗戦」は我々の学習モチベーションとしての役割を担っております。

今後も、我々一同この度の結果に慢心することなく、常勝できるチームを創っていきたくと考えております。

(東京大学大学院 公共政策学教育部 経済学愛好会 井田憲宏さん)

☆準優勝 専修大学「経済学検定演習講座A」

仲間と共に、目標に挑む！

私たちチームの目標は、先輩たちが成し遂げた大学対抗戦での優勝を、今度は自分たちの力で成し遂げることでした。そのため、今回の結果は満足のいくものではなく、自分たちの力不足を痛感しています。その一方、準優勝という結果を努力の成果としてポジティブに受けとめています。

今回の試験を受験するにあたっては、石川秀樹先生のご指導とエクステンションセンターの協力の下、個人学習ではなくグループワークを中心に経済学の学習に力を入れました。個人で理解が難しい問題があれば全体でそれを共有し、学生同士で「教え合う」という学習法を重視するようにしました。普段の大学の講義における勉強とは違い、他人に教えるということは経験が少なく難しいものだと感じました。最初は苦戦しましたが誰かに教えることで自分自身の知識も深まり、チーム全体の理解度が増し活気づいていきました。

今回の試験を終えて得られたことは、目標を設定し、それを達成するためにチームが協力し学習していくというプロセスの重要性です。今後もこの経験を活かしチーム一同精進していきたくと思います。

(専修大学 経済学検定演習講座A 河崎太樹さん)

☆個人賞トップ

ミクロ・マクロ試験で、経済学分野での自分の立ち位置を知る！

この度は、EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」において個人賞トップという結果を残すことができ、非常に嬉しく思います。センター試験などで、全国の学生と比べ自分の現在地を知ることができる高校までの学習とは異なり、大学以降の学習は他の学生と比較した自分の立ち位置を知ることが難しいと感じています。その点、EREミクロ・マクロ試験は経済学という分野において、自分の立ち位置を知る貴重な機会だと思っています。こうした意識で臨んだEREミクロ・マクロ試験で上記の成績を収められたことは自信に繋がりますし、今後の学習の意欲を高めてくれるものだと感じています。

EREミクロ・マクロの学習方法については、個人での学習の積み重ねがあったのはもちろんですが、チームとして、共に過去問の練習を行い、競い合ったことによる部分も大きかったと思います。やはり、個人では頑張れないときも、競争があったことにより頑張ることができた部分もあると思います。この経験を活かし、今後も経済学への理解を深めていきたくと思っています。

(東京大学大学院 公共政策学教育部 経済学愛好会 畑中宏仁さん)

▶委託会場制度利用のご案内

現在、全国に12の本会場を設け、「E R E（経済学検定試験）」を実施しておりますが、該当県外に住む受験希望者からみて会場が遠方にあることにより、「希望者がいても、なかなか受験に直結することができない」との声があります。最近では「交通費をかけて県外の受験会場へ足を運ばせるのも学生の大きな負担となるため、委託会場としての実施を検討したい」というお話を頂戴する機会が増えてまいりました。

受験申込者を取りまとめ一括でお申込をいただく場合は「団体受験申込制度」があり、以下の条件を満たせば、委託会場として受験者が所属する学校や会社内に受験会場を設けることができます。すでに20団体を超える大学に登録・実施をいただいております、少しずつ全国に広がりを見せている制度です。どうぞご利用ください。

●委託会場とは

委託会場とは、試験会場の設置および実施・運営のための規程等を遵守することを条件に、団体が申請した施設等を協会が試験会場として認めたものをいいます。

●委託会場設置条件とは

委託会場設置のためには、下記の条件を満たす必要があります。

- ① 協会が定めた試験実施日時を厳正に遵守すること。
- ② 受験申込者数が2種目（E R E／E R Eマイクロ・マクロ）の合計で10名以上であること。
- ③ 試験当日の会場責任者として、試験申込責任者もしくはそれに準ずる者を選任すること。
- ④ その他、協会で定める規程等を厳正に遵守すること。

●試験実施までの流れ

〈試験前に行っていただくこと〉

- ① 到着資材の確認
- ② 試験問題等重要資材の保管

〈試験当日〉

運営方法を記した『試験実施規定』にもとづき、厳正に試験を監督・実施。

〈試験終了後〉

遅滞のないよう答案等試験資材を検定試験運営センター宛に返送。

本会場受験者と同じの手続きにより採点し、成績結果を通知します。

●実施手数料のお支払い

委託会場としての登録・設置を事前にいただき、当日の試験運営を行っていただく場合は、団体取りまとめ手数料10%に加え、委託実施手数料として受験料の15%（合計で25%）をお支払いします。お支払方法は、受験料より差引入金していただくことで行います（申込者が10名に満たない場合は、手数料のお支払いはありませんが、委託会場として実施をいただくことはできません）。

委託会場制度をご利用いただく場合は、事前にご連絡ください。団体申込用FD願書のご請求時に所定の用紙「委託会場設置届出書」をお送りします。詳細につきましては、検定試験運営センターまでお問合せください。

■検定試験運営センター■

〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3-21

Tel：03-3267-4821 Fax：03-3267-4999 e-mail：info@ere.or.jp

就活のエントリーシートにEREの成績を明示

ERE（経済学検定試験）は、Economics Record Examinationの略称で、大学で学ぶ経済学の理解度を評価する検定試験として、2002年3月より年2回実施いたしております。最近、学部学生が就職活動にあたり、エントリーシートにその成績を明示し自己アピールの一手段として利用する機会が増えていきます。そのため、採用ご担当者の皆様に本試験の概要につきましてご理解いただきたく、ご案内を申し上げます。

■特徴

本試験の結果は合否ではなく、SランクからDランクまでの7ランクで評価され、かつ、受験回数に制限がないことにより、何回でも受験が可能です。そのため、本検定試験を経済学に対する学習成果の検証とし、多くの大学生等が利用しております。

また、大学対抗戦においては、参加者自らが自主的にチームを結成し成績を競うことにより、大学の枠を越えお互いに経済学を理解しあう場として利用されています。

■出題科目等

〔ERE〕四択択一式・90問・180分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問／財政学：10問／金融論：10問／
国際経済：10問／統計学：10問 計90問・900点満点

〔EREMикро・マクロ〕四択択一式・50問・100分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問 計50問・500点満点

■活用例

- ・専門課程の単位認定試験として
- ・大学におけるカリキュラムの効果測定として
- ・経済学系大学院入学の専門科目の代用として
- ・就職活動における経済学に対する理解度の証明として
- ・自己啓発等の成果の検証として
- ・公務員試験の準備として

■備考

現在、ERE（経済学検定試験）は、7月・12月の年2回、全国12の試験会場において実施しており、年間約3,000名の方々が受験しています。その主な受験層は約8割が国公立・私立の大学生・大学院生で、約2割が官公庁・民間企業、その他の受験者となっています。

《資料請求・お問合せ先》

特定非営利活動法人 日本経済学教育協会 事務局
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-21
TEL：03-3267-4819／e-mail:info@ere.or.jp

— 経済学の学習到達度を測定 —

2017年度 第33回 E R E 実施要領

『E R E』（6科目）

実施回	第 33 回
試験日	2017年12月3日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分（180分）
受付期間	2017年9月20日（水）～2017年10月20日（金）〈消印有効〉
受験料	5,400円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学／財政学／金融論／国際経済／統計学
出題形式	4答択一式／90問，1問10点，900点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

『E R E ミクロ・マクロ』（2科目）

実施回	第 33 回
試験日	2017年12月3日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時40分（100分）
受付期間	2017年9月20日（水）～2017年10月20日（金）〈消印有効〉
受験料	3,240円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学（注）
出題形式	4答択一式／50問，1問10点／500点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

（注）『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。

第28回 E R E ミクロ・マクロ 「大学対抗戦」 参加チーム募集！

●2017年12月3日(日)実施 ●受付期間：2017年9月20日(水)～10月20日(金)〈消印有効〉

●前回まで参加した53校（50音順）

青山学院大学／跡見学園女子大学／宇都宮大学／大阪大学／大阪経済大学／
大阪産業大学／大阪商業大学／大阪府立大学／小樽商科大学／鹿児島大学／金沢大学／
九州大学／京都大学／熊本学園大学／熊本壺溪塾学園／群馬大学／慶應義塾大学／
埼玉大学／札幌大学／上智大学／成蹊大学／専修大学／創価大学／高崎経済大学／
中央大学／筑波大学（同大学院）／帝塚山大学／東京大学（同大学院）／
東京理科大学／同志社大学／東北大学／東洋大学／長崎県立大学／名古屋大学／
名古屋市立大学／名古屋学院大学／名古屋経済大学／新潟大学／日本大学／一橋大学／
兵庫県立大学／福岡カレッジ・オブ・ビジネス／福島大学／北海道大学／
北海道教育大学／武蔵大学／武蔵野大学／明治大学／山形大学／立命館大学／
琉球大学／和光大学／早稲田大学